

学科 学年	全学科 2年	科目 分類	保 健 Physical Education	講義と 実習 必修	通年 2単位	学習教育 目標 E	担当	片山 孝 佐藤 誠 渡邊 志保美
概 要	生活が豊かになった反面、生活習慣病や薬物、心の問題など新たに出てきた心身の健康に関する問題点について、現代社会における新しい時代の健康のあり方などを学習させる。思春期から中高年期までの生涯にわたる体と心の変化と健康に関わる事柄を学習させる。健康に関連する環境・食品の問題や、働くことと健康との関連など、社会生活と健康について学習させる。							
科目目標 (到達目標)	健康とそれを取り巻く様々な問題に対する理解と認識を深め、実際の生活の中で役立てていけるようにさせる。応急処置等が実技としてできるようにする。							
教科書 器材等	現代保健体育（大修館書店発行） ビデオ教材							
評価の基準と 方法	定期試験の平均成績を80%、小テスト成績、授業への積極姿勢を20%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目	体育							
授業計画								
第1回 「現代社会と健康」 私たちの健康のすがた 健康のとらえ方 第2回 様々な保健活動と対策 生活習慣病と日常の生活行動 第3回 喫煙と健康 飲酒と健康 第4回 薬物乱用と健康 医薬品と健康 第5回 感染症とその予防 エイズとその予防 第6回 健康に関わる意志決定、行動選択 意志決定、行動選択に必要なもの 第7回 欲求と適応機制 心身の相関とストレス 第8回 ストレスへの対処 自己実現 第9回 交通事故の原因と要因 交通社会における運転者の資質と責任 第10回 完全な交通社会づくり 応急手当の意義とその基本 第11回 心肺蘇生法 日常的な応急処置 第12回 「生涯を通じる健康」 思春期と健康 性意識と性行動の選択 第13回 結婚生活と健康 妊娠出産と健康 第14回 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 第15回 定期試験 第16回 高齢者のための社会的とりくみ 保健制度と保健サービスの活用 第17回 医療師度と医療費 医療制度と医療サービスの活用 第18回 「社会生活と健康」 大気汚染と健康 水質汚濁と健康 第19回 土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策 第20回 環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き 第21回 食品と環境の保健と私たち 働くことと健康 第22回 労働災害・職業病と健康 健康的な職業生活 第23回 「社会の変化とスポーツ」 現代社会とスポーツ 競技スポーツの社会的意義 第24回 スポーツの歴史的変遷 スポーツと国際理解 ライフステージとスポーツ 第25回 文化としてのスポーツとの関わり 地域やライフスタイルとスポーツ 第26回 「運動の学び方」 運動技能の仕組みととらえ方 技能の上達と練習の仕方 第27回 運動の計画的な学び方 選択制授業の進め方 第28回 「体力の高め方」 体ほぐし 運動と体力 体力トレーニングの仕方 第29回 トレーニングプログラムの作成 目的別のトレーニングの方法 けがの予防 第30回 定期試験								
オフィス アワー	授業の前後、放課後に質問等に対応することができる。							
備 考								